

一般財団法人日本私学教育研究所

創立 50 周年記念講演会・式典・祝賀会を挙行

一般財団法人日本私学教育研究所は、2013(平成 25)年 12 月 2 日、創立 50 周年記念講演会・式典・祝賀会(文部科学省後援)をアルカディア市ヶ谷で開催し、都道府県私学協会・日私教研役員等、文部科学省政務三役・幹事職員、自由民主党文教関係国会議員らが多数出席した。

<第一部 記念講演会>

記念講演会には 100 余名が集い、国内外の授業研究と学校改革に取り組み「学びの共同体」を提唱する佐藤学氏(学習院大学文学部教授・東京大学名誉教授)を講師に迎え、「質の高い学びの創造」と題して、21 世紀の社会が教育に要請する新時代の中高のイノベーションの必要性と日本の高校が直面する厳しい現実と課題に言及。世界各国での学びの共同体の展開を紹介し、21 世紀型の学校改革、生徒の協同的な学び、教師同士が学び合う学びの共同体の重要性を指摘。「子どもは一人では学べない。仲間と学び合い支え合って、教師の手を借りながらより高いレベルに挑戦しなければ質は上がらない。教員の修士レベル標準化、次回学習指導要領改訂における教育内容高度化は欠かせない。教師の本懐は学ぶことを通して幸せになることだ。授業と学びのイノベーションで達成される質の高い学びの創造によって希望を持ち、粛々と学校改革を前進させよう。」と説いた。

中川武夫日私教研所長は、昭和 38 年創設から半世紀に亘る「研究所のあゆみ」をスライドショーで報告した。



【記念講演会】

佐藤学 学習院大学文学部教授・東京大学名誉教授



【記念講演会】

中川武夫所長による報告「研究所のあゆみ」

<第二部 記念式典>

記念式典では 130 余名が参列する中、吉田晋理事長は式辞で「私学の教育は現在と未来の子どもたちに対して行われる。彼らを指導し育む教職員がより良い教育を実践することが私学教育の原点だ。日私教研はその実現と教職員の資質能力向上の為、不断の努力を重ねていく。」と決意を述べた。

来賓の下村博文文部科学大臣は、祝辞の中で「教育再生は安倍内閣における最重要課題の一つで、しっかりとした教育は未来に対する先行投資だ。教育再生実行会議の提言を基に制度設計を進める中央教育審議会メンバーの吉田晋理事長を通じて私学関係者の声を反映していきたい。国の根幹を形成する教育は最重要政策であり、改革を進める上で建学の精神に基づく多様な人材養成と特色ある教育を展開し、

公教育の一翼を担う私学の役割は極めて重要だ。学校教育の更なる充実を図るために教員の指導力向上は欠かせない課題で、私学教育を側面から支え、重要な役割を果たす日私教研に大きく期待している。」と述べた。

自由民主党から遠藤利明党教育再生実行本部長が祝辞を披露し、園浦健太郎衆議院議員が紹介された。続いて、日私教研に対して文部科学大臣感謝状が贈呈され、下村文部科学大臣から受賞団体を代表して中川所長が感謝状を拝受、謝辞を述べた。



【記念式典】

下村博文文部科学大臣、遠藤利明自由民主党教育再生実行本部長ら来賓と吉田晋理事長



【記念式典】

下村文部科学大臣から中川所長に日私教研への感謝状贈呈

< 第三部 記念祝賀会 >

記念祝賀会には250名が出席。来賓の山中伸一文部科学事務次官、私学団体を代表し清家篤全私学連合代表、河田悌一日本私立学校振興・共済事業団理事長、増田壽男一般財団法人私学研修福祉会理事長がそれぞれ祝辞を披露した。

自由民主党文教関係国会議員を代表して河村建夫衆議院議員、義家弘介衆議院議員が挨拶し、渡海紀三朗衆議院議員、塩谷立衆議院議員、文部科学省より上野通子大臣政務官ら省幹部職員が紹介された。

近藤章郎全国私立学校審議会連合会会長・中高連副会長による乾杯を機に祝宴が繰り広げられ、参会者が懇親・交流を図った。

会は藤野利夫横須賀学院中学高校校長による万歳三唱により盛会裡に終了した。



【記念祝賀会】

歴代文部科学大臣総検者(自民党国会議員)、文部科学事務次官ら幹部、私学団体代表らが出席



【記念祝賀会】

乾杯ご先立と挨拶する近藤章郎・日本私立中学高等学校連合会副会長・一般財団法人東京私立中学高等学校協会会長

☆創立50周年記念誌「日本私学教育研究所50年のあゆみ」は、2014(平成26)年2月末頃刊行し、関係者及び全国の私立小・中・高等学校へ配布。